

地球環境学舎

総合生存学館を志望する者は、地球環境学舎修士課程の「一般入試」(夏期選抜)のみ受験可能である。

以下の情報は、令和6年度地球環境学舎修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項であるため参考として読むこと。地球環境学舎が令和7年度学生募集要項をウェブサイトに掲載次第、本ページを更新するので随時確認すること。一次出願を行った者には願書記載のメールアドレスに連絡する。(以下に記載している日程等については変更される。)

1. 出願書類 (研究科別)

P.8記載の(2)二次出願書類(共通)と併せて、第一次試験で地球環境学舎を受験する者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

志望理由書	所定の様式を用いてPCで作成すること。 ※所定様式は、地球環境学舎のWEBサイト (https://www.ges.kyoto-u.ac.jp/admissions/schedule-and-guide/) から取得すること。
TOEFL 等の英語スコア	※原本は、合格後の入学手続き時に提出すること。 TOEFL 等の英語スコア 全ての受験者は、「TOEFL 等の英語スコア」を提出すること。提出しない場合、英語能力の点数は0点とする。 TOEFL-iBT(TOEFL iBT Home Editionを含む)の受験者成績表(Examinee Score Record) (注1)の提出を原則とするが、以下のいずれかを提出してもよい。 ・TOEIC あるいは TOEIC Listening & Reading (Secure/Public testing program)の公開テストスコアの公式認定証 (Official Score Certificate (Reports) 又は Certificate of Achievement) (注2) ・IELTS スコア公式成績証明書 (Test Report Form) (注3) ただし、いずれであっても令和2年4月1日以降に受験した試験のスコアとする。また、2種類以上のスコアを提出することはできない。 なお、各英語スコアの TOEFL-iBT スコアへの換算は以下の通りとする。 ・TOEIC スコア：地球環境学舎募集要項8頁の「換算表」に基づく。 ・IELTS スコア：ETSによる換算表「TOEFL iBT® and IELTS® Academic Module Scores Comparison Tables」に基づく。 注1：TOEFL-CBT、TOEFL-ITP スコア及び TOEIC 団体特別受験制度による IP スコアは認めない。TOEFL-iBT の受験者成績表 (Examinee Score Record) は、ETS から大学に直送される公式成績報告書(Official Score Report) では代替できない。 注2：TOEIC 公開テストスコアには、TOEIC SW テスト及び TOEIC Bridge を含まない。また、必ず公式認定証 (Official Score Certificate (Reports) 又は Certificate of Achievement) を取得し提出すること。 注3：IELTS はアカデミック・モジュールに限る。

地球環境に関する課題論文	別紙「地球環境に関する課題論文 分野別テーマ（地球環境学舎 WEB サイト掲載の「修士課程学生募集要項」を参照すること）」に記載する志望分野が設定したテーマについて、PC を使用し、本文 A4用紙4枚以内（日本語5,000字、英語2,000words 程度）で記述したもの（様式随意。なお、冒頭に志望分野、氏名を記載すること。また、参考文献リストは本文字数、ページ数に含まない）。
--------------	--

二次出願書類（共通）及び（研究科別）の郵送

受付期間：2023年7月13日（木）～2023年7月18日（火）午後5時（必着）

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

注) 郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集（2025年4月期）出願書類在中」と朱書（レターパックプラスの場合は「品名」に記載）のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 学力検査

日時	科目	試験場
令和5年 8月29日（火） ～8月31日（木） 各日9時～18時 上記から日時を指定する。 1人あたり35分の予定	口頭試問 地球環境に関する知識、志望分野に関する知識、入学後の研究計画及び学習計画、アドミッション・ポリシーで求める資質・能力に関する試問	京都大学吉田キャンパス 総合研究5号館 ※ただし、海外から受験する者については、オンラインで実施する。

- (1) 入学者選抜は分野ごとに行うので、志望分野及び受入志望教員を出願時に選択すること。なお、出願に先立ち受入志望教員と事前にコンタクトをとること（外国の大学を卒業（見込）の者は、受入志望教員とコンタクトをとる前に必ずアドミッション支援オフィス（Admissions Assistance Office/AAO）で手続きを行うこと。AAO: <https://u.kyoto-u.jp/fg3ll>）。

募集を行う分野名・教員名一覧は、地球環境学舎修士課程学生募集要項を参照すること。

(2)「志望分野に関する知識」における分野ごとの出題内容は以下のとおり。

分野		「志望分野に関する知識」における出題内容
地球益学 学廊	地球環境政策論分野	環境政策に関する知識を問う。
	環境経済論分野	環境政策・経済に関する知識を問う。
	地球益経済論分野	環境政策・経済に関する知識を問う。
	持続的農村開発論 分野	農村計画学及び農村開発論に関する知識を問う。
	水環境保全論分野	水環境保全（水質学、水と衛生、廃水処理、流域水環境管理など）に関する知識を問う。
	歴史地理文化論分野	歴史地理学及びアメリカ史に関する知識を問う。
	環境マーケティング 論分野	環境政策・経済に関する知識を問う。
	美術史・文化論分野	美術史と文化に関する知識を問う。
	環境教育論分野	持続可能な開発のための教育、コミュニティ・レジリエンス、参加型の開発、人の移動、循環型・低炭素社会システム及び持続可能性に資するライフスタイルについての知識を問う。
地球親 和技術学 学廊	環境調和型産業論 分野	環境工学（環境汚染、上下水道・廃水処理、廃棄物処理・処分・管理など）に関する知識を問う。
	社会基盤親和技術論 分野	地盤環境工学を中心として、社会基盤工学（土木工学、建設工学、建設環境工学）に関する知識を問う。
	人間環境設計論分野	生活、住居、建築、コミュニティ、都市という人間環境に関わる知識を問う。
	生物多様性保全論 分野	動植物の分類学、系統学、形態学、遺伝学、生物多様性や保全生物学に関する幅広い見識を問う。
	景観生態保全論分野	景観生態学、自然環境保全、ランドスケープ計画に関する幅広い見識を問う。
	元素材料化学論分野	環境計測・機能材料に関する知識を問う。
資源 循環学 学廊	地域資源計画論分野	土地利用・管理を中心とする地域資源計画及び農村・地域開発に関する幅広い見識を問う。
	都市基盤デザイン論 分野	景観工学の基礎（景観の概念、分析、予測、評価、公共空間の各論など）や都市計画に関する知識を問う。
	生産環境微生物学論 分野	農林生産環境と関連づいた微生物の分類学、系統学、生物間相互作用に関する幅広い見識を問う。
	陸域生態系管理論 分野	陸域生態系とその管理法、地域開発支援に関する知識を問う。
	生態系連環論分野	森林域、里域、沿岸・河口域の生態系の構造や機能および生態系間の連環に関する幅広い見識を問う。

(3) 口頭試問での採点・評価項目は以下のとおり。

基礎学力、知識力、理解力、問題把握能力、考察力、問題設定能力、研究能力、設問理解度、応答能力、出願書類の内容

(4) 合否判定基準は、以下のとおり。

英語能力（満点 100 点）、口頭試問（地球環境に関する知識、志望分野に関する知識、入学後の研究計画及び学習計画・アドミッション・ポリシーで求める資質・能力、出願書類の内容を含む満点 400 点）の総得点（満点 500 点）により分野ごとに合否判定を行う。なお、総得点 250 点未満の者又は口頭試問 200 点未満の者は合格対象としない。

(5) 口頭試問における使用言語を「日本語」若しくは「英語」から選択すること。出願後の変更は認めない。

(6) 海外から受験する者については、オンラインで口頭試問を行う。事前に受験に適切な環境（静寂な個室）の確保や試問に使用する機器類（カメラ、スピーカー、マイク含む）や通信環境で、安定的に面接を実施できるか確認しておくこと。詳しくは、地球環境学舎 WEB サイト掲載の募集要項別紙「オンライン口頭試問を受験する際の留意事項」を参照すること。

(7) 口頭試問の日時、受験案内等は令和5年8月上旬に総合生存学館教務掛からメールで通知する。